

西武・狭山丘陵パートナーズの紹介

- 狭山丘陵にある都立4公園、野山北・六道山公園・狭山公園・東大和公園・八国山緑地は、平成18年4月1日から「西武・狭山丘陵パートナーズ」が指定管理者として公園運営管理を行っています。

西武・狭山丘陵パートナーズの紹介

- 西武・狭山丘陵パートナーズの構成団体は
 - 西武造園株式会社
 - 西武緑化管理株式会社
 - 特定非営利活動法人 NPO birth
 - 株式会社タム地域環境研究所
 - 特定非営利活動法人 地域自然情報ネットワーク (GCN)

西武・狭山丘陵パートナーズ役割分担



市民ボランティアによる雑木林の管理

- ゾーン
- 履歴

2. 造園は自然科学ではない？

学問経歴(卒論)

- 東北大学農学部農学科
- いわゆる自然科学
- 卒業論文「仙台市の街路樹、近郊の自然公園、自然林の病害虫比較」
- フィールド系の研究
- 指導教官、西口 親雄先生

学門経歴(修論)

- 修士論文「トマトのカルシウム吸収機構と気象調節によるコントロール」
- 室内及び圃場実験系の研究
- 指導教官、堀 裕先生

職業履歴(その1)

- カーターアート環境計画入社(5年程度)
 - 現 環境・グリーンエンジニア
- 調査課配属
- 自然環境調査、おもに植物、土壌、土壌動物など

職業経歴(その2)

- プラトー研究所に移籍(10年程度)
- 情報・調査課
- 自然環境調査、GIS関連業務など

公園、高速道路植栽の設計

- 構想、計画、基本設計、詳細設計
- それぞれの段階に調査を行う。
- 調査課は計画課、設計課の下請け

調査課への陰口

- 「調査のやつらは計画や設計にどんなデータが必要か分かっていない。」
- 実際には計画や設計の下請けもできず、独自の調査仕事をこなす。

計画課長の独り言

- 「調査データは構想や計画を補強するデータとして使う。」
- ある意味で恣意的にデータを取り扱う。
- 自然科学を学んできた者にとってショックな話であった。
- 「最初に結論ありきではなく、データに語る。」

最近ようやく発見したこと

- 造園は自然科学ではない。芸術である。
- 対象とする素材は自然環境
- この素材は何らかの働きかけに対して反応があることが特徴である。

3. 楽しくなければまちが いだ！

里山の市民ボランティアによる管理のロジック

- 里山が荒れている。
- 里山は管理を行わないと荒れていく。
- しかし人手がない。お金もない。
- 市民ボランティアを募って無償で人手を確保しよう。
- 本当にこれで良いの？

樹林管理の進め方

- 専門的な知識を持っている人が指導する。
- 正しい樹林管理の在り方を学ぶ。
- どの木を切るか、下刈りを行うか、ボランティア間でもめる。
- 楽しめない……！

里山は今必要なのか？

- 里山が必要とされていたころはどのように里山を使っていたか
- 里山から落ち葉や小枝などを持ってきて堆肥を作る。
- 里山で食べられるものを採取する。
- 田畑への水の供給。
- 薪や炭、用材などを収穫する。
- 今はこのような用途はほとんど必要なくなっている。
- つまり里山はもはや必要なものではない……でも

私の生い立ち

- 北海道札幌市で生まれる。
- 2歳半で東京都板橋区へ
- 3歳で埼玉県新座市へ
- 東京都東久留米市の小学校と中学校
- 子供のころの遊び
- 虫取り、秘密基地作り、魚やザリガニ釣り、栗拾い
- 里山は遊び場だった。

もう一度里山を遊び場にしよう

- 楽しく里山管理を行おう
- 老若男女が楽しく
- そもそも造園は芸術
- 正しい里山管理といったものはない
- 里山を作品として、みんなで作り上げる

4. 里山をもう一度取り戻すために

野山北・六道山公園での取組

- 樹林を知ろう(相観植生図のようなもの作成)
- もっと樹林を知ろう1(植生調査)
- もっと樹林を知ろう2(毎木調査)
- もっと樹林を知ろう3(林内環境調査)
- 将来どんな樹林にしたい(構想みたいなもの)
- それぞれのパーツの役割をきめる(計画みたいなもの)
- パーツでどんな管理を行う(設計みたいなもの)

樹林を知ろう(相観植生図)

- 森をよく見ると場所によって違いがある。
- 小さな林でもいくつかの部分(パーツ)に分けられる。
- 下の植生の違い
- 上の樹木の違い
- 土の湿り気の違い
- 光の入り具合の違い
- 各パーツに名前を付ける

樹林を知ろう(相観植生図)



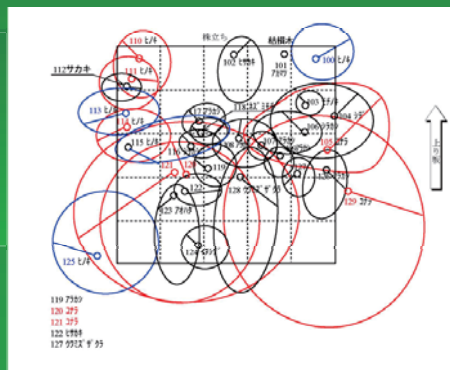
樹林を知ろう(相観植生図)



もっと樹林を知ろう2 (毎木調査)



もっと樹林を知ろう2 (毎木調査)



もっと樹林を知ろう3 (林内環境)

- 樹林内環境の測定
- 天空写真
- 林内相度
- 土壌湿度

もっと樹林を知ろう3 (林内環境)



将来どんな樹林にしたい

- 樹林コンセプトについて、いくつかの班でまとめてプレゼンしてもらう。
- なんでそのコンセプトにしたのか
- それぞれのコンセプトに対して意見を交わす。
- 同じようなコンセプトはできるだけまとめる。

将来どんな樹林にしたい



それぞれのパーツの役割をきめる

パーツでどんな管理を行う

まとまらないまとめ1

- 樹林の管理目標を決めることは子育てみたいなもの
- 目標を決めてもその通りに育ってくれるかわからない
- 作品として自由に考えてもよいのではないか
- とにかく楽しんでもらうこと

まとめにならないまとめ2

- 里山に人を取り戻すことをまず目標にしたい
- 植物だけではなく生き物についても
- 働きかけに対して応答する素材だから、応答状況をモニターしたい